

令和4年度

第1回 北杜市社会教育委員会議・公民館運営審議会 会議録

日 時 令和4年4月22日（金） 午後1時25分～午後3時45分

場 所 北杜市役所 大会議室

出席者 丸茂 正、小泉育子、内藤雅人、赤岡けさみ、内藤久敬、清水もとみ、板山國夫、植松利恵子、藤森富士夫、清水慎一、今井三津子、白砂 勇、原まゆみ、古澤武彦、功刀美津子、北原正倫、進藤聡彦、花谷泰広、日永龍彦

欠席者 進藤美紀

事務局	教育長	輿水	清司
	教育部長	加藤	寿
	教育部参事	平井	ひろ江
	生涯学習課長	渡辺	美津穂
	社会教育担当リーダー	高柳	博基
	社会教育担当	小池	真美
	社会教育担当	古屋	俊樹
	青少年カウンセラー	矢崎	茂男

議 事 (1) 令和4年度年間事業について
(2) 北杜市生涯学習推進計画について
(3) 北杜ふれあい塾について
(4) 令和5年北杜市成人式について
(5) その他

公開・非公開の別：公開

傍聴人の数：なし

開会

1. 委嘱状交付

2. 開会あいさつ（藤森社会教育委員会議副議長）
3. 議長あいさつ（板山社会教育委員会議議長）
4. 教育長あいさつ（興水教育長）
5. 協議事項（内藤公民館運営審議会会長）
 - （1）令和4年度年間事業について
 - （2）北杜市生涯学習推進計画について
 - （3）北杜ふれあい塾について
 - （4）令和5年北杜市成人式について
 - （5）その他
6. 閉会あいさつ（赤岡公民館運営審議会副会長）

（事務局）傍聴人のいないことを確認し議事に入る。

【北杜市社会教育委員議事運営規則第3条第3項の規定により、板山会長が議長となる】
（議長）協議事項（1）令和4年度年間事業について事務局お願いいたします。

（事務局）令和4年度年間事業について説明する。

（議長）ありがとうございました。たくさんありましたので復唱はいたしません。委員の皆さん、今の説明に対して質問等ございましたらお願いいたします。次へ進ませていただきます。協議事項（2）北杜市生涯学習推進計画について事務局よろしくお願ひいたします。

（事務局）北杜市生涯学習推進計画について説明する。

（議長）ありがとうございました。ただいま説明していただいたのは、北杜市生涯学習推進計画について、市民の人たちの生々しい声がたくさん載っているように思います。それについて、少し皆さんで協議をしていきたいと思ひます。委員の皆さん何かご意見ご質問いかがでしょう。

（委員）9ページの「諸刃の剣」とは。私の理解だと「両刃の剣」。つまり。世の中の事すべてはプラス面とマイナス面があってすべて背中合わせになっている。表側からみてもわからない。心理が。「諸刃の剣」は変換ミスなのか。造語なのか。もう一点。大きな会議だとこれだけ有能な委員さんたちが集まっていると話しづらい所がありますね。全然意見がでないけど、個別になってくると意見が出ます。

(議長) よろしくお願いたします。

(事務局) 「諸刃の剣」ですけれど、どちらかわからなくてインターネットで検索して、一番上から出ているものを表記しました。委員がおっしゃる「両」の方がたしいのであれば。言葉の意味合いとしては、同じようなかたち、統合とか再編するということと、それが反面の部分でサービス低下。両局面があるってことです。字の部分についてはインターネットで検索してこちらが上位に載っていましたので、こちらの方を採用させていただきました。

(委員) もうひとつ。自由記載欄のところに、8町の町村単位の頃から住人が住んでいるということなのですが、「北杜市は自然環境が良くてとても好きなのだけれども住んでいる人は嫌いだ。」と書いている。そう見られているのかな。新しく来ている人たちに。それも含めて「両刃の剣」はキーワードになるなと思いました。

(議長) ありがとうございます。その他にありますか。

(委員) 資料の中に情報が届かないというものがありません。周辺の地区のなかでも広報やチラシ類が配布されるのは、組に入っている人だけ。入っていない人は、支所に行ってくださいと。住んでいる人は16軒程いますけど実際組に入っているのは10軒でございます。あとの人たちは入っていません。広報も届かない、チラシも届かない。SNSとかコンピューターを使って調べることができない人達ばかり。昔からどうしたらいいのだろうな。東京なんかでは、自治会長が住んでいようが、住んでまいがどんどん入れていくんですね。ここではそういうことができません。どうしたらいいのだろうなと私は気になっているんです。社会教育の一つかもしれない。そういうのに入れば情報を得られることが得だなと感じられる社会になってもらえれば一番いいなと思いますけれど。なんで地域に入らないかという一番の原因は、その地域に入ればなんか作業をしたり、何かというと必ず出ていかなければならない、役員をしなければならぬ、こういうことが足かせになっていることが多々あります。70歳くらいになって、組を抜けさせてくださいという家が、10軒のうち3軒抜けさせてほしいと言われているのです。この今の行政の中では今後どんどん増えてしまうんじゃないかな。むしろ自由自在になんでもできるほうがいいやという世の中になってしまうのではないかな。社会教育の一番大切なところ。チラシなり広報を必ず届けるようなシステム。行政がやらない人がやらなくて、放っておいていいやというのは、会のなかでは考えたくないなと思います。そんなところが、一つの課題になってくるのかなと思います。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 自由記述欄の中に何回も出てきます。前からも出てきてますね。情報や広報どうやってやったらいいかという課題を言われましたけどね。私の地域にも新しく移住してくる人がかなりいる。ところが組へ入らない。なぜかということはわからないが、予想としては地域の行事に参加したりとか、そういうことが面倒くさくて、面倒で嫌だという考え方があるんだと思う。市が一生懸命広報している。ところが受け取る方が、なんだか十分でない。食い違いがありますね。新しく来た人たちと、いままで住んでいた地元の人との交流がほとんどないと、自由記述欄に書いてある。自然が豊かで来たんだけど、地元の人たちと交流する機会がない。私の地域の若い人たちは、地縁でつながってません。自分の趣味とか、子どもを通してとか、そういったことでつながっています。地縁ということじゃなくて。地縁でつながっている人たちはある程度年配になって昔からいる人たちは地縁ですけどね。今の若者は違います。地元で生まれて地元で育った若者も地縁的なつながりはない。自分の趣味とか、そういうことでつながっているようです。今はスマホがあるからすぐ電話して仲間をつくったりしている。そういうことに長けている。若い人たちは。そういう人たちをどうして生涯学習にしる、何にしる、うまく巻き込んでいくか。極端なことが書いてあります。興味がないと。生涯学習なんかどっちでもいいや。そういう若い人たちもいるんです。意識調査をみるとね。転入するときに、市のほうでは、地域の区へ入ってくださいという話はしているようですね。ところが言ってきて、実際に入ってきているかというところが全然です。わたしの地域にも来ていますが。なかには子どもたちがいません。そういうことが実態です。そういう人たちをどうしていくか。広報しているつもりでも、受け取る側が全然わからないと。社会教育施設にしても、どこにどういう施設があるのかもわからないと書かれているんですよね。地図上で示して、市の方でやるとかね。なんかそういう工夫をしてやれば良いかなと思います。広報を支所へ取りにきてくれと。区に入っていない人たちはね。ところが高齢者は支所に行けないんですよ。年取ってくると。結局行かないということになる。そういう人たちを、どういうふうこれからしていくか。社会教育施設に行くにも行けない。車が運転できない。市で送り迎えすると。市でそういうことをしてくれればありがたいと。そうすれば参加できると。そんなところまでとてもできないのが現状だと思います。一方ではそういう考えを持っている。場所がわからない。社会教育施設のね。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 質問が2点あります。計画のペースにこのアンケート調査があって、アンケートの結果から課題が抽出され方向性まで導かれている。そもそものアンケート自体のデータと分析手法が妥当なものかどうか確認をさせていただきたいと思います。1点は抽出された1000名の属性というのは確認されているのかどうか。つまり、北杜市の、例えば、男女別、年齢構成、居住地が北杜市全体のデータとして、そもそもの調査自体を信頼しているものかどうかということを確認するうえでも、抽出された1000名の属性別のばらつきはどのくらいになっていたのか確認したうえで分析されたのか。アンケートの結果の属性ごとに書いてあるんですが、回答者の内訳しかないんですね。何人の人が質問紙を投げられていて、そのうちの何人男性だったら何%くらいが答えているのか、それぞれの年代層でどのくらいの人に投げられていて、そのうちのどのくらいがっていうふうに。無作為抽出なのでそこまで抽出されてないのであればなおさら、属性がどのくらい分かれて抽出されていたのか見せていただかないと、そもそもこのアンケートの単純集計しかないですけれども、このデータ自体信頼しているのか、北杜市の実態なのかというのが疑問になってしまった。2点目は分析の仕方なんですけれども、年齢層、新しく来られたとか、来られてないとか属性によって、それぞれ抱えている問題がありそうだっていうことが見えてきているように思います。実際そのような分析をされていますけれども、今回の調査結果には単純集計しか載っていない。属性ごとのクロス分析をしたうえで、例えば9ページの5項目目6項目目というように、若年層、子育て世帯はこうだとおっしゃっているのか、属性別のクロス分析をしたうえでなさっているのか、経験に基づいて書いておられるのか、そこで課題設定の仕方が、データに基づくものなのか、信頼できるデータに基づくものなのか、あるいは、これまでの経験則に基づくものが混じりこんでいるのか。厳格な区別をしていただきたい。クロス分析がされているのかどうか。今後の方向性とか課題をみると内容や体制の見直しをすることと、それをいかに周知していくかという広報の部分ですね、特に2つの方向で、計画を作っていくのであればターゲットがこうだからこういうふうなんだよと見ていく必要がある。そのあたりのデータがここで示されていないので、この課題設定自体が妥当かどうか。本来ならばそれぞれのアンケート項目、自由記述についても属性別に見てみて、どういう人たちがターゲットになるときは、こういうことをしなければならぬというふうに考えていかないと、計画作成のプロセスとしていかなものか。

(議長) ありがとうございます。よろしく願いいたします。

(事務局) 1点目ですけれども、対象者の抽出に関しては、令和4年1月1日現在の住基台帳の人口を基に抽出しております。その時の1000人無作為ですと、地域が偏っ

たり男女別が偏ったりしますので、令和4年1月1日現在の住基台帳の人口の8町の人口割合を1月1日現在の総人口で案分した数字を各町ごと配分しました。1000人の中で調整をするように男女別、年代別で、基本的に等しくなるように配分してます。1000人の中で8町の人口に対するバランスだったり、年代別、性別別のバランスについてはとれてる状況です。ですので、ある程度平均的な、年代だったり、地域性の部分での抽出は、対象者の発送についてはできていると考えております。現状、クロス分析はできておりません。例えば、子育て世帯は何を求めているか、正直クロス分析ができていない状況ですので、わからない状況です。あくまで、単純的な回答に対する集計ということで、年代別等について、できてないところですので、私の経験則という未熟なところもありますけれど、これまでの経験と単発的な集計と市の講座等開催した実績等がありますので、そういった中の傾向としてお示しをさせていた状況です。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 今後どうしますか。クロス分析までして私たちにデータ見せていただけますか。

(事務局) データ自体はありますので、これはただ私がエクセルで集計しているだけなので、民間の方がやってるような細かい所までできないかもしれませんが、年代別でこういった項目で集計は可能ですので、年代別でこういった部分をクロス集計していったらどうかご提案があればやっていきたいと思えます。

(委員) 必要であればクロス分析くらいのお手伝いはできるので、言ってください。エクセルでやってると聞いて驚いてしまいました。支援ができることがあれば声かけてください。

(議長) ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

(委員) 北杜市の移住者と在住者とのつながりなり、新しく交流しながらひとつの文化をつくる方向性について生涯教育からできることがあるのでないか。移住者と、もともと住んでいる人たちの価値観の違いがあるのなら、あきらかにして乗り越えて新しく北杜市を作っていくってことを、明確に打ち出していったらいい。抽出された人たちの中から、移住者、組に入っているかいないのかというところが、大きいのではないかと思うので、併せて分析されたらいいと思いました。人口が減って行って、だんだん縮小していくような北杜市であって、移住してくる人たちの存在は、非常に大きいのではないか。定着してくれよう北杜市であること。未来

につながっていくのではないか。移住してきてくださる方、いいなと思ってきてくださる方、どんな思いで暮らしているのか、その人たちと一緒に北杜市をつくっていくことを、もっと明らかにしていく。世代を超えるだけじゃなくて、新しく入ってくれた人たちを含めて北杜市の良さがわかっていくような取り組みに焦点化していく必要があると思います。

(議長) ありがとうございます。他に委員の皆さんいかがでしょう。

(委員) 前回のアンケート調査でも、地域の方が怖いと自由記載欄に書いていた方がいる。地域の方々と移住者の確執があるのかなと感じていました。今回の方にも、住んでいる方が嫌いだとか、地域に加わるには地域の長の度量次第だと。それはどういうことなのかな。移住者にも地域の方にも、こういう実態があって、こういう考えを持っていて、こういう取り決めがあるんだ。でも、こういう方向でいかなくちゃ。そういう話が必要なのかなと思います。もうひとつは、広報というのは全家庭に確実に送られるものかなと思ってきた。大泉に、移住者が、知ってる方が何人もいらっしゃって、うちには広報が来ないんだよと聞いて驚きました。取りに行かないともらえない。ただ、足がわるいからとおっしゃってます。全家庭に平等に。もっと市民に対して等しく周知してほしいというご意見をいただいていますので、確実に全市民にわたるものということで取り組みを考えいかないといけないと思います。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 新しく来た人たちが区へ入るか入らないかというのは、区長の度量次第だと書かれてありました。私が区長をしていた時、実際はどんどん入ってくださいと言います。ところが入らないんですよ。どうして新しく来た人たちが、前からいた人たちと交流できないのか。前々から書かれている。まず課題ですね。もうひとつは、生涯学習というと高齢者のイメージが強い。子育て世帯にやってくれるとか、子育て世帯に何を考えてくれるか。子育て世帯の人たちが、北杜市は子育てに大変いい地域だとか、魅力をもてるような方策を考える必要がある。若者が来なくなるような、この市に行けばこんないいことがあるとか、子育てが助かるとか。北杜市に移住してくる人は退職してきた人が多く、20年くらいして故郷へ帰っていくパターンが多い。若者は何か一ついいことがないと駄目だと思います。魅力がないと。生涯学習は高齢者のイメージがある。アンケートで出ている。若者に絞って何か事業をすればいいかなと感じました。あと、若者が少ないですね。年配の方が多いけど。北杜市は将来的に若い人が来て発展していくのかなと思いました。

(議長) ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(委員) 広報の問題ですとか、地域や行政の問題がありましたが、後から来た人が悪者になっているような言われようですが、残念ながら若い世代が移住してきても、組にも入れてもらえない、ここの地域ではないと、事例がたくさんあります。そんな中、その人たちはどうしたらいいの。市に言っても組に入れてもらってくださいと言われ、結局どっちつかずで、何もできなくて終わってしまう。どの地区に入ったらいいのかわからない、登校班もどこに入っているかわからないという子がたくさんいます。ここで全部議論する必要があるかは違うと思いますが、社会教育のありかたとして、そういう人たちも含めてどうしていくか、総合計画の中に入れていかなければいけない課題だと思います。広報の問題ですけど、市も LINE であったり CATV であったりとか、広報誌以外のもので周知している。これが意外と知られてないし、使われていない現状にあると思います。インターネット使えないと言っているが使えるようにしてもらわなければいけない時代になってきています。どういう手段を使ったらインターネットを使ってもらえるか。広報誌を見るよりタブレットで見た方が字が大きくできるし、高齢者の方には楽だと思います。生涯教育の中でできるのか、インフラ整備の中の話なのか。そろそろ、どうするかという意見が出てこない、せつかくの会議がもたないと思います。生涯学習の事業の中で、人が集まってやる事業があると思いますけれど、こういう時代ですからオンラインですとか、CATV の番組ですとか、見れば参加したという形があってもいいと思います。参加の多様性ですとかもっと議論していただきたいと思っています。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 現住民のお孫さんが越してきて世帯数と人口が増えました。その人たちはすんなり入ってくるんですけど、見ると、新しく入ってきて、老後は自然が豊かな北杜市で暮らそうという人たちが、文句を言う人がいます。河川清掃にもでてこない。草刈りもでてこない、ごみステーションのごみ当番も回ってくるんですが、ごみステーションが荒れていました。なんでこんなに汚いんだ、鼻をつまんで掃除している。よく見ると別荘に住んでる人がこっそり出している。広報の問題も、地区に入っていない人たちのごみの出す時の争奪戦はすごいものですね。権利ばかり主張して、自分の果たす責任は、草刈りはやだ、古い因習に囚われている。あの人たちは、組費も払ってなくて、組の道路も自由に歩いている。電灯代でももらったら

どうだ。公民館の総会で言っても、温度差があります。なので、委員は自分の意見をどんどん言って、風通しを良くするための仕事をする。社会教育に何ができるかに特化して。ここにいる人たちが吸い上げて、どんどん言っていいんですよ。各論にもちこんで計画を提出すればいい。

(議長) ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(委員) 僕は移住者という立場なので、地域との距離感を感じるころはあります。それを無理やり融合しようとしなくていいと思います。無理やりひとつにしようとしてもうまくいかない気がします。生涯学習という言い方が、対高齢者だったりとか連想させるのではないか。若い人たちの参加を促すには、部活とかサークルとかもっとゆるい感じの方が若い人たちが来やすいのかな。あと、やってる人はやっている。今策定しているのは、どうにかして動かそうと受け身の人たちのための施策がほとんどで、公共だからこれ考えないといけないのは、わかるんですけど、基本動かない人は動かないので、どこまで汲み取るか。そこまでやる必要があるのかと感じます。どこまで受け身の人たちを抄うのか、そういう究極的なところかなと感じています。抄いきれないと思う。かと言って、切り捨てるわけにもいかないのです。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 生涯学習の中でも個人が自分の趣味やニーズに応じて独力独学でやることについては、ここでは触れなくていいと思うのですが、行政特に市が中心となって提供する学びの場を、どういうふうにしていくか。もうひとつは地域住民が主体となって主に公民館分館が主体になって行う学びの場をどう作っていくか。この2つを議論していく必要があるのではないか。市・行政が中心となって提供する学びの場は、先ほどのアンケート結果で心に残るのは、80%の方が、機会があればなんらかの学びを続けていきたいというニーズ・思いを持っているということ。もうひとつは50%の方が市のイベントの情報が全くないと答えていること。委員の皆様の方からは、常に全戸に広報を配布するという、いろんな方法でイベント情報を流すということに触れていると思います。一方で、移住してきた方がより身近に接するのは、居住区、公民館活動、近所の活動を挙げているんですね。公民館分館の活動も魅力ある活動にしていくために何が必要か、議論していかなくてはならないし、もっと大きな問題は分館の維持管理をどう担保するか、月に1回使われるか使われないかという分館を、いかに有効活用していくか議論していく必要があるのではないか。

(議長) 貴重な意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。事務局、提案よろしく願いいたします。

(事務局) 北杜市生涯学習推進計画について説明する。

(議長) ありがとうございました。ご意見ご質問お願いいたします。協議事項(3)北杜ふれあい塾について事務局お願いいたします。

(事務局) 北杜ふれあい塾について説明する。

(議長) ありがとうございました。この件につきまして何かありますでしょうか。次に進みます。協議事項(4)令和5年北杜市成人式について事務局お願いいたします。

(事務局) 令和5年北杜市成人式について説明する。

(議長) ありがとうございました。何かございますでしょうか。

(委員) 12月の会議の時にも発言させていただきましたが、成人式の流れなんですけれど、顔合わせだけでも意味がある。写真を撮って、偉い人の話を聞く。自覚を持たせる。だが、成人式の会場に北杜市内の企業のブースを設けて、こんなに魅力のある企業があるんだよ、大学を卒業したらUターンして北杜市でどうだいと。旧の成人式でなくて、そういうのもどうでしょうか。山梨県内全部を見渡して、北杜が特出しすぎているのか、あるいはあまり若い人が喜ばないのか。ちょっとお聞きしたいです。

(議長) お願いします。

(事務局) 現時点での成人式の計画の中で、地元の企業のブースを作るということは現状では考えていません。あくまで今日ご提案しているのは、名前はこうした方がいいか。名前について意見を聞きたいと思っています。

(議長) ありがとうございました。よろしいですか。

(委員) 社会教育委員の中には、こんなアイデアがあったと言う機会はあるんですか。

(事務局) あくまで今日は名前の部分と考えていますので、内容については今日の提案の部

分には含まれていません。

(議長) よろしいですか。他にございますでしょうか。

(事務局) 急な話なので、皆さん見ていただいて、名称がこんなのがいいのではないかというのがあれば、私あてにご連絡いただければと思います。今日は提案という形で持ち帰ってください。いいような名前があればご提案いただければと思います。

(議長) 妙案がありましたらお知らせ願いたいと思います。いい名前期待しております。協議事項(5) その他について、事務局お願いいたします。

(事務局) 配布物について説明する。

(議長) ありがとうございます。今説明のありました資料、全部お持ちでしょうか。その件について、何か質問等ございますでしょうか。

(事務局) 追加で、次回の会議については7月上旬、第一週か第二週くらいを予定しております。6月は市の定例市議会があり、できない部分があります。また追って通知を差し上げますのでお願いします。

(議長) 貴重な意見たくさんありがとうございました。

閉会 (午後3時45分)